

不誠実と責任回避 の権化荒金代表

発言は二転三転 根本姿勢は変わらず そのココロは「言い逃れ」で押し切りたい

第1回団体交渉（8・25）から逃避

会社が日程を決めたにもかかわらず、直前になって明確な理由も示さず荒金代表欠席！
総務・人事部長：「不可抗力で…」

ゼネラル分会の見解

8月25日に、当局認可の関係で差し迫った書類の提出があったとは到底考えられない。どう見ても団体交渉から逃避するための言い訳でしかない。

当局を理由に

第2回団体交渉に初めて出席した荒金代表は「閉鎖に関する当局対応のため出席できなくなった。当局に提出する書類の作成がギリギリになり、当日中に提出しないと当面必要な認可が出ないという局面になったことが理由である」と強弁

第2回団体交渉で「代表がすべて決定したのではない」

イタリアの了解をとって

分会ニュースNo2で「従業員の雇用継承なども含めた閉鎖の具体的な内容はすべて日本支店＝荒金代表が決めた」との記載に対し矢面に立ちたくない荒金代表は、「独断で決められるものではなく、イタリアの了解をとっている」と全否定

イタリアなのか、香港なのか…結局、荒金代表が決めている

イタリアへの報告は当然

組合：合意書の内容などもイタリアの了承を得ているのか
代表：基本的に報告している
組合：各人の退職日も報告しているのか
代表：当然だ!

イタリアは噛んでいない

第3回団体交渉で代表は、イタリアではなく、香港とのやり取りで決めていると繰り返し、「イタリアが本件に噛んでいない。イタリアが噛んだのは、日本支店を閉める、相手がMSというところまで」と無節操にも変説



弁護士も同席させながら不誠実な団交を繰り返す

なぜ日本社への求人依頼を行わないのか

意味不明

- ◆有効ではないので行わないと私が判断した
- ◆私が有効と思う方法でやっていく

組合が損保協会に依頼し要請する場を設定したら荒金代表は行くのか

無責任

- ◆そういう場があれば行きたい

獲得した求人情報の開示は全員に公平とすべきではないか

無意味

- ◆希望者にのみ詳細情報を開示する

ゼネラル分会の見解

本当に再就職支援をしようとしているのであれば、「社名」、「職種」、「処遇」などをすべて開示し、全員が公平に就職活動のできる環境としなければならない。現に、過去日本を撤退した会社では経営が自らそうした方法をとっていた。代表の恣意性の強いこうした方法は常識外である

会社が勝手に支店閉鎖するのになぜ「自己都合」退職なのか

社会通念上、「会社都合」しかあり得ない

◆

なぜ代理店説明会を実施しないのか不誠実極まりない

代理店にも不誠実

- ◆要望が無いので、東海支店以外は実施しない
- ◆不十分と言われるならそうかもしれない

荒金代表の姿勢・態度を180度変えさせ、納得のいく解決をめざして、最後まで団結してたたかきましょう！

組合員のみなさん 怒りを結集し団結して団体交渉に臨みましょう！
第7回団体交渉…11月16日（木）18時半より弘済会館

不安、不満、怒りを持つみなさんへ
全損保ゼネラル分会へ
ご相談ください
一緒にたたかきましょう

全損保ゼネラル分会

委員長：内野恭喜（営業部）
書記長：居相覚史（業務部）
全損保本部書記局
TEL03-3551-7131
FAX03-3551-8130

